

2016年9月5日

北海道知事 高橋 はるみ 様
北海道環境影響評価審議会会長 池田 透 様

「石狩湾新港風力発電所環境影響評価書」に関する緊急公開質問状について

北海道自然保護協会 会長 在田 一則
石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
代表 安田 秀子
銭函海岸の自然を守る会 代表 後藤 言行

私たちは、経済産業省が2016年7月15日に確定通知をエコ・パワー株式会社へ送付した、同社による「石狩湾新港風力発電所に係る環境影響評価書」に多々問題があり、特に、住民の健康被害へ悪影響が危惧される超低周波音・低周波音・騒音に関する記述内容に看過できない大きな問題が認められますので、そこに焦点を当てた緊急の公開質問状（同封の本文および別紙）を経済産業大臣世耕弘成様、経済産業省環境審査顧問会風力部会長河野吉久様ならびに経済産業省電力安全課高須賀様に宛て、9月3日付けで送付いたしました。

大きな問題点は、評価書において、準備書段階までに示されていた発電機（風車）の仕様が突然に大型化され、それに伴って超低周波音・低周波音・騒音の数値が大きくなり、多大な健康被害が危惧されるにもかかわらず、それらの影響を小さく見なす、すなわち環境影響を軽視または無視する事業者の姿勢が顕著であることにあります。

このような手法を黙認しますと、石狩市民だけではなく札幌市民や小樽市民など道民に多大な悪影響を及ぼすことが危惧されるだけでなく、環境影響評価法に基づいた事業者の手続きにおいて、事業者が配慮書・方法書・準備書と順次環境アセスメント書を作成し、広く国民・住民の意見を聞き、それに対応して環境への影響を最小限に抑えるという環境アセスメント制度そのものを無視することとなりますので、貴職におかれましては、真摯なご検討をいただきたく、また、経済産業省や事業者に対して強力なアクションを起こしていただきたいと、切に願う次第です。

2017.2.17 TEL

11/28 再訪 TEL

TEL 2017.1.10

1/10 TEL 再訪

TEL 再訪

TEL 再訪

TEL 再訪

10/3

10/19



2016年9月3日

環境大臣 山本 公一 様

「石狩湾新港風力発電所環境影響評価書」に関する緊急公開質問状について

北海道自然保護協会 会長 在田 一則
石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
代表 安田 秀子
銭函海岸の自然を守る会 代表 後藤 言行

私たちは、経済産業省が2016年7月15日に確定通知をエコ・パワー株式会社へ送付した、同社による「石狩湾新港風力発電所に係る環境影響評価書」に多々問題があり、特に、住民の健康被害へ悪影響が危惧される超低周波音・低周波音・騒音に関する記述内容に看過できない大きな問題が認められますので、そこに焦点を当てた緊急の公開質問状（同封の本文および別紙）を経済産業大臣世耕弘成様、経済産業省環境審査顧問会風力部会長河野吉久様ならびに経済産業省電力安全課高須賀様に宛てて、9月3日付けで送付いたしました。

大きな問題点は、評価書において、準備書段階までに示されていた発電機の仕様が突然に大型化され、それに伴って超低周波音・低周波音・騒音の数値が大きくなり、多大な健康被害に結果すると危惧されるにもかかわらず、それらの影響を小さく見なす、すなわち環境影響を軽視または無視する事業者の姿勢が顕著であることにあります。

このような手法を黙認しますと、石狩市民だけではなく札幌市民や小樽市民など道民に多大な悪影響を及ぼすことが危惧されるだけではなく、環境影響評価法に基づいた事業者の手続きにおいて、事業者が配慮書・方法書・準備書と順次環境アセスメント書を作成し、広く国民・住民の意見を聞き、それに対応して環境への影響を最小限に抑えるという環境アセスメント制度そのものを無視することとなりますので、貴職におかれましては、真摯なご検討をいただきたく、また、経済産業省や事業者に対して強力なアクションを起こしていただきたいと、切に願う次第です。